

令和4年3月吉日
駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校
校長 棚田 和明

令和3年度の改善方策に基づく改善結果について

1 「e-ラーニング等タブレット・ICT活用状況に対する保護者の理解を促進する取り組み」について

- (1) 保護者アンケート「本校は、映像やタブレットなどのICTを利用し、わかりやすい授業をしている」に対する肯定的評価は、前年比26.2%増の68.1%であり、前年度より大幅に上昇した。
- (2) 今年度2学期より始まったオンライン授業や通常登校との選択制に向けて校内研修による教員のICT活用スキル向上を図った。その成果があり、オンライン授業の進め方が定着したことと同時に、家庭でICT活用の具体的な取り組みに接する機会が多くなったことが、肯定的評価上昇の大きな要因と考える。
- (3) 健康観察、学校からの情報発信や欠席連絡をオンライン化したことも効果的であったが、さらに工夫改善できることを模索して実行していきたい。

2 「コロナ禍における感染防止及び衛生環境の向上に努め、さらなる安全・安心の学校経営・運営に努めること」について

- (1) 保護者アンケート「本校の感染症予防対策については理解できる」に対する肯定的評価は、1学年87.5%・2学年87.6%・3学年94.7%であり、学校の取り組みをご理解いただいていると考えている。
- (2) 今年度の新たな取り組みとしては、ロイロノートを活用した健康観察のオンライン化、給食用パーティションの新規購入、保護者への情報伝達と欠席連絡における「すぐーる」アプリの活用などがある。
- (3) 保護者参観を制限した上で、運動会・若竹祭（合唱コンクール・展示発表）を実施することができた。また、河口湖移動教室を2年ぶりに実施でき、修学旅行と校外学習も規模を縮小して実施する予定である。昨年以上に様々な活動を実施できたことが大きな成果の一つであると考える。

3 「今後も保護者・地域の方の来校機会が制限されることをふまえ、一層の情報発信と共有に努めるとともに、特に1年生の生徒・保護者については不安解消の手立てを講じていく」について

- (1) 学校からの情報提供に関する保護者アンケートについて、紙ベースの情報提供に関しては、どの学年も肯定的評価が85%を超えているものの、オンラインベースの情報提供に関しては、肯定的評価が全校では82%、1学年では78.9%に止まっている。
- (2) キャリア教育に関する保護者アンケートでも、1学年の肯定的評価が2・3学年より20%ほど下回っている。
- (3) 学校公開や学校行事の保護者参観を制限せざるを得ない状況が続いていることがとても残念である。保護者会や進路説明会等のオンライン化や録画配信について検討していきたい。